

春休みの過ごし方

先日、「為せば成るセミナー」が開催されました。3年生の担任の先生方のお話は、どれも実体験にもとづいた貴重なものばかりです。先生方のお話を参考に、「今やらなければならないこと」は何かをよく考え、行動していきましょう。

さて、3年生の1年間が充実したものになるかどうかはこの春休みの過ごし方次第で決まると言っても過言ではありません。そこで2年間の総復習をすることが絶対必要です。逆に言えば、今まで学習面で不振だった人も、この時期の頑張りを取り返すことが可能なのです！

次に挙げるのは、受験生になるにあたってのチェックポイントです。

1つでも当てはまる項目がある人は、今のうちに改善しておきましょう。

(ベネッセより。一部改。)



■チェック1 学習習慣

- 国語**
- 授業中は板書を写すことに集中して、先生の口頭での説明は書き留めていない。
 - 古文・漢文の予習では、本文をノートに写したり、教科書ガイドの訳を写したりするだけで終わってしまい、わからない言葉を辞書で調べるところまではしていない。
 - 古典の辞書を引くときに他の用法や意味を確認しない。

受験生であっても授業中心の学習を続けることが大切です。古文・漢文の予習を行う際には、辞書を活用して本文訳を考えるとところまでするようにしましょう。

- 数学**
- 問題演習は試験前にまとめて行う。
 - 平日の学習時間は1時間未満である。
 - 定期試験前の学習は公式・定理の暗記だけを行う。
 - 応用問題を解くときに、わからないとすぐに答えを見る。

数学では問題演習を多く行うことが大切です。毎日の復習や定期試験・模擬試験前後の学習をうまく活用して問題演習を行っていきましょう。

- 英語**
- 予習は行わず、定期試験前にまとめて学習する。
 - 定期試験後は間違えたところだけを確認して、復習はしない。
 - 辞書を引くときは、意味だけを確認し、例文までは見ない。
 - 長文読解では、わからない単語があるとすぐにあきらめる。

英文を読む力をつけるために、予習など普段の学習の中で辞書を活用し、語彙を増やしていきましょう。また、「習った英語を頭に残す、定着させる」ために英文を何度も音読することも大切です。

■チェック2 進路・生活

- 「受験勉強を始めるのはまだ先でよい」と思っている。
- 志望校・学部・学科の詳細な研究内容や必要科目・配点を調べていない。
- 模擬試験後の復習はしないことが多い。
- 学習開始時間・起床時間・就寝時間など、生活リズムを固定できていない。
- オープンキャンパスや体験入学、大学でのセミナーやシンポジウムなどに参加したことがない。



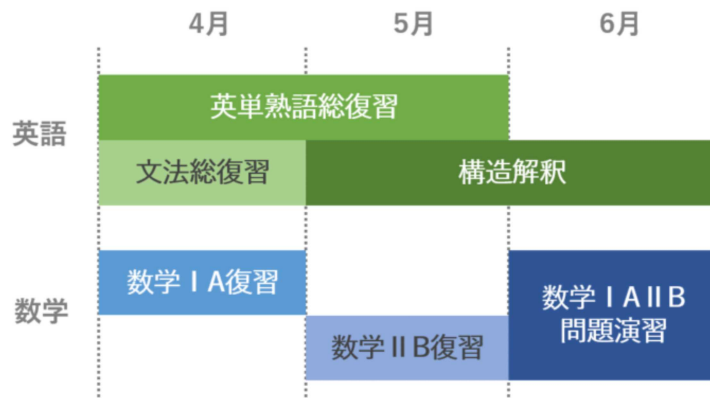
志望校はもう決まっていますか。目標が決まれば「目標達成に必要な学力」と「現在の学力」とのギャップを把握でき、「これから何をすべきなのか」が明確になります。また、模擬試験を活用しながら受験勉強を進めていくこともポイントです。

★春から高3生の勉強スケジュール★

まずは1年間の大学受験勉強計画のスケジュールを立てることから始めましょう。秋までに各教科の基礎を完成させることを目標として、1ヶ月ごとの大まかな計画表を作成しておくといでしょう。「4月は頻出英単語・英単語の復習，数学ⅠAの復習」「5月は英単語と英文構造解釈，数学ⅡBの復習」というような大まかなもので大丈夫です。いつまでに何を必要があるかという全体像がつかめるので，ぜひこの機会にスケジュール作成を試みましょう。

すでに志望校や行きたい学部が決まっている人は，大学の公式ホームページをみて入試科目を調べ，それらの科目を中心に据えたスケジュールを立ててみましょう。

(例)

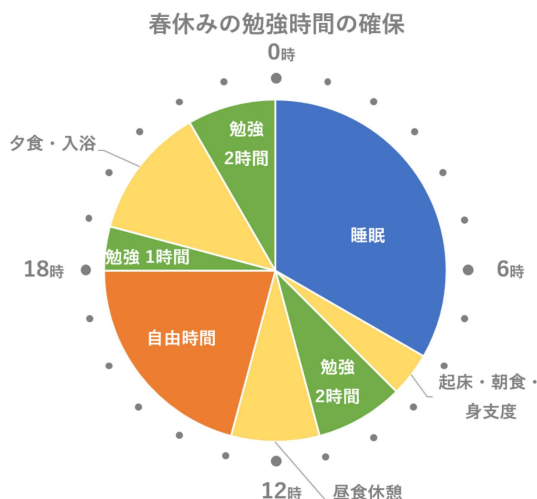


★春休みの勉強時間と過ごし方★

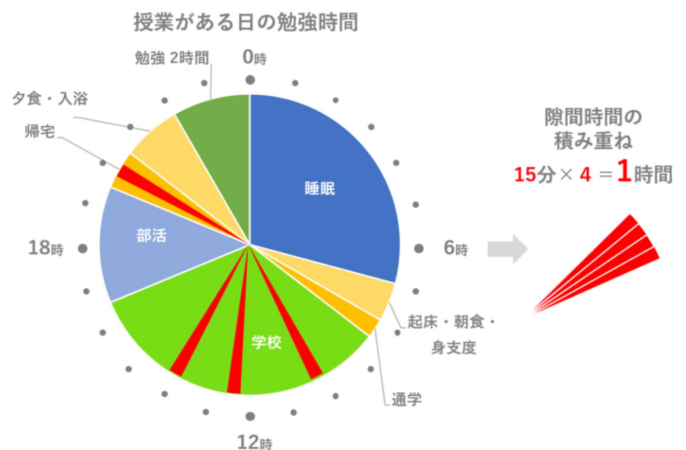
春休みの勉強時間の目安は5時間程度です。3月から4月にむけて徐々に学習時間を増やしていくのも良いでしょう。また，一気に5時間勉強するのではなく，例えば，朝2時間，夕方1時間，夜2時間というように決めて，適度に休憩をはさみながらリズムよく勉強をする習慣をつけましょう。

部活動がある人も，朝1時間，隙間時間を合わせて1時間，夜3時間というように，自分の生活スタイルに合わせて勉強してみましょう。

(例1) 部活動のない日



(例2) 部活動のある日



(じゅけラボより。一部改。)